



No.33

平成24年7月31日発行

南あわじ市

議会だより



▲昭和30年代の淡路人形芝居。当時は神社境内などで野掛け芝居として上演された
写真提供：野水正朔氏（二科会写真部会員）



▲福良なないろ館前に建築された淡路人形浄瑠璃館の劇場内

500年の伝統、 新たな幕開け

淡路人形浄瑠璃館8月8日オープン

主な内容

6月定例会の結果	2～7
一般質問	8～13
委員会レポート	14～18

編集 南あわじ市議会広報広聴特別委員会

発行 南あわじ市議会 〒656-0472 南あわじ市市善光寺18-27

TEL.0799-43-5005 FAX.0799-43-5105 E-mail gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp

南あわじ市ホームページ <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp>

議決結果一覧

議長(楠 和廣)欠席のため、副議長(廣内孝次)が議長の職務を行う。議長は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対、-は欠席、※は退席)

提出者	議案名	議決結果 (議会の意思)	各議員の賛否																	
			中村三千雄	川上命	阿部計一	登里伸一	北村利夫	蓮池洋美	砂田泉洋	柏木剛	森上祐治	印部久信	長船吉博	小島一啓	久米啓右	谷口博文	原口育大	熊田智彦	蛭子裕重	出田
市長	税条例の一部改正の専決処分	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	南あわじ市大学入学奨励金支給条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○
市長	非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	法改正に伴う条例整理(出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	消防団員等公務災害補償条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	印鑑条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	住民基本台帳カード利用条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	税条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
市長	農業共済条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の変更	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	物品売買契約の締結(ケーブルテレビ)	否決	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○
市長	公の施設の指定管理者の指定(淡路人形浄瑠璃館)	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×
市長	損害評価会委員の委嘱(内田治三氏)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	24年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	国民健康保険税条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務	大飯原子力発電所の再稼働について再考を求める意見書	原案可決	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×
文教	(国に対し)国民健康保険制度の改正と国庫負担を計画的に復元することを求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
文教	(南あわじ市長に対し)国民健康保険税の税率引き下げに関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産建	「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

総務=総務常任委員会、文教=文教厚生常任委員会、産建=産業建設常任委員会



▲第43回本会議での風景

第43回定例会が6月4日～6月21日の会期で開かれ、市長より提出された議案15件、議会からの委員会提出議案4件、請願1件が上程されました。
各議案の内容と主な質疑及び採決の結果をお知らせします。

• 大学入学奨励金支給条例を可決
• 国民健康保険税の負担軽減
• 新人形浄瑠璃館の指定管理者決定



▲来春開学する吉備国際大学の入学生への奨励金支給が決まった(写真は大学改修工事完成イメージ。同大学提供)



▲(財)淡路人形協会が淡路人形浄瑠璃館の指定管理者となることが決まった

6月定例会の日程

- 6月4日 定例会第1日目 (議案上程ほか)
- 〃 11日 〃 第2日目(一般質問)
- 〃 12日 〃 第3日目(〃)
- 〃 13日 〃 第4日目 (一般質問、議案追加上程)
- 〃 15日 総務常任委員会(議案審査)
- 〃 18日 文教厚生常任委員会 (議案審査)
- 〃 19日 産業建設常任委員会 (議案審査)
- 〃 21日 定例会第5日目(採決ほか)

吉備国際大学入学に奨励金 南あわじ市大学入学奨励金支給条例の制定

■議案内容

市内の大学に入学した学生に対して、入学奨励金(上限30万円)を支給し、大学と連携したまちづくりによる地域活性化及び若者の定住促進を図ることを目的とする。

■主な質疑

問 定住促進が目的であれば、奨励金を「貸与」にして、卒業後に本市に定住すれば返還を求めないとするのはどうか。
答 学生が市内に定住することで、地域経済や農業の活性化につな

がる。まずは大学に入学してもらうための奨励金である。
問 島外の大学や専門学校で学ぶ市内出身学生にも奨励金を貸与し、卒業後、地元で就職した場合、返還を免除する対応はできないか。
答 市内在住で島外へ通学する学生には通学助成金を出している。卒業後Uターンする場合は、今後の検討課題である。



▲市は「大学入学奨励金制度は若者の定住と地域の活性化につながる」と説明(写真はイメージ)

問 奨励金の返還規定に、休学、長期欠席等により学業継続の見込みがないと認めるときとあるが、その判断方法は。
答 個々の事例により判断する。

■委員間討議

●卒業後の定住促進も大切だが、まずは定員確保が必要。それが地域の活性化につながる。今後、さらに踏み込んだ定住促進事業にも取り組んで欲しい。
●この条例の目的は定住促進とあるが、実態は学生を集めるための大学応援である。また、卒業生に支給するのが適当だ。

■討 論

反対 蛭子智彦議員

■議決結果

賛成多数で原案可決

IP告知端末の購入、否決に 物品売買契約の締結(ケーブルテレビ)

■議案内容

ケーブルテレビ用のIP告知端末500台を2152万5千円、随意契約で購入する。

■委員間討議

●互換性がないのかどうかが疑問が残る。また、1社随意契約であり競争の原理が働いておらず適正な価格での契約となっていないのか分からない。
●メーカー間の規格の統一ができれば比較検討ができるが、まだできていないのが現状。現状ではこの契約を認めなければならぬ。

■討 論

反対 柏木 剛議員

■議決結果

賛成少数で否決

新人形浄瑠璃館を人形協会が管理 公の施設の指定管理者の指定

■議案内容

今夏にオープンする淡路人形浄瑠璃館の指定管理者に(財)淡路人形協会を指定する。

■主な質疑

問 (財)淡路人形協会の事務局は現在、教育委員会内にあるが、今後はどうするのか。
答 新人形浄瑠璃館に移すことを協会と確認しているが、いつからかまだ決めていない。
問 協会事務局は、独自で立ち上げ、営業強化など体制の見直しや、長期安定経営を見据えた専門職員が必要でないのか。
答 営業の重要性は十分認識しているし、人材育成も見据えて取り組んでいく。

問 座員の技芸向上は。答 従前より取り組んできています。また今後、接客マナー研修や防災訓練も実施する。
問 施設の駐車場が不足しているのではないか。答 当面は、公民館の道向かいにある福良財産区所有の駐車場と保健所跡地を観光客用の駐車場として確保している。十分ではないので、今後も検討していく。

■討 論

反対 蛭子智彦議員

■議決結果

賛成多数で原案可決

防災事業の財源に市民税の増額分を活用 条例の一部改正

■議案内容

退職所得に係る10%税額控除の廃止、たばこ税の一部税源を県から市へ移譲、個人の市民税の均等割額の改正等。

■主な質疑

問 個人市民税の均等割額の改正で500円増額している。その使途は東日本大震災からの復旧・復興を図ることを目的としているのか。
答 平成23年度から平成27年度の間、全国の市町村で自らが実施する緊急防災・減災事業の財源となる。東日本大震災の復旧・復興に充てるものでない。

■討 論

反対 蛭子智彦議員
賛成 原口育大議員

■議決結果

賛成多数で原案可決

国に意見書を提出 大飯原子力発電所の再稼働について再考を求める意見書

総務常任委員会から大飯原子力発電所の再稼働について再考を求める意見書が議会に提出されました。

賛成多数で原案可決
出しました。

■意見書要旨

政府は、現状のままでは今夏電力不足に陥る可能性があると判断から、大飯原子力発電所再稼働に向け大きく足を踏み出している。また政府は「福島を襲ったような地震・津波が起これば、事故を防止できる対策と体制は整っている」と断言した。しかし、福島原発事故の原因究明はなされておらず、安全基準も専門委員の議論を踏まえたものとはなっていない。

■提出先

内閣総理大臣、経済産業大臣ほか



▶市民税増額分が避難路整備などの防災・減災事業に活用される

国民健康保険税の負担軽減 納期回数の変更

国民健康保険税条例の一部改正

■議案内容

今年度の国民健康保険税の税率改正と、来年度から納期回数を7月から翌年3月までの9回に変更する。

■主な質疑

問 今年度の国民健康保険税の税率改正と、来年度から納期回数を7月から翌年3月までの9回に変更する。

答 納付忘れのないよう色々な広報媒体で周知したい。

問 納期回数がこれまで

固定資産税や市県民税は、

民税は一括、ないし4回分納である。これらも同様に納期回数を増やせないか。

答 国保税は、中低所得者の被保険者が多く、その所得に占める保険料の割合が高かったため納期回数を増やした。固定資産税や市県民税は、ある程度の財産



▲町ぐるみ検診

地方自治体としての対応については限界まで来ていると思われる。国に対して抜本的な対応を求める意見書を委員会として提出すべきでないか。

■委員間討議

平成23年度の決算剰余見込金1億9千万円を税収の減及び国保税の税率改正による減額分に充てている。

問 市として総額でいくらか国保税が減額となるか。

答 被保険者平均1人当たりで1万2743円の減額、一世帯当たりで2万6349円の減額となる。

や所得を有している方が対象であり、地方税法に基づいた納期回数を条例で規定している。今回の税率改正でどれだけ税額が減額となるのか。

●国保税の納期回数を増やすことは、国保の被保険者にとってメリットが多くあるのではないか。

24年度国民健康保険特別会計 補正予算（第1号）

■議案内容

収支確定による補正。

■主な質疑

問 ジェネリック医薬品（後発医薬品）の使用で、国保会計の負担軽減になる。使用を推進すべきでないか。

答 国や県でも推進し

ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは？
特許が切れた医薬品を他の製薬会社が製造あるいは供給する医薬品。価格は特許医薬品より安価。

■討論

賛成 蛭子智彦議員

■議決結果

賛成多数で原案可決

農業共済条例の一部改正

■議案内容

家畜の権利義務の継承に伴う共済責任の開始日の特例及び水稲の共済金額の申し出をしない場合について定めるもの。

■主な質疑

問 飼養する家畜の一部を売却した場合にも譲渡人が加入していた権利義務が譲り受け人にも継承されるのか。

答 部分的な譲渡の場合、継承されない。家畜共済は農家ごとに包括して引き受けている。今回の条例改正は、廃業した農家の家畜を包括して譲り受けた農家に権利義務が継承されるものである。

■議決結果

賛成多数で原案可決

国に意見書を提出

国民健康保険制度の改正と国庫負担を計画的に還元することを求める意見書

文教厚生常任委員会では、国民健康保険の加入者の負担軽減につながるよう、国と市に対して改善を求める意見書を本会議に提案しました。採決の結果、賛成多数で原案可決となり、意見書を送付しました。

■国へ意見書（要旨）

国民健康保険は主に一次産業従事者や個人事業主、年金生活者などを被保険者としており、また前期高齢者や非正規雇用の若者も多く含まれている。他の組合健保や共済組合と比べて加入者層が異なり、その所得額と保険料には大きな差がある。また財源は国や都道府県、保険者の負担金、被保険者の支払う保険

料から成り立っている。国が1984年から国庫負担金の引下げを行ったことで自治体の負担が増加し、自治体の財政力の差により保険料も2〜3倍と地域間格差が生じている。いずれにしても高額な保険料の負担は被保険者の生活を圧迫し、国民の命と健康を守る制度としては極めて脆弱な制度である。

よって本市議会は、国民健康保険制度の安定的かつ健全な運営を図るため、早期に制度の改正と国庫負担を計画的に還元するよう、強く要望する。

■提出先

内閣総理大臣、厚生労働大臣ほか

市に意見書を提出

国民健康保険税の税率引き下げに関する意見書

市へ意見書（要旨）本定例会に提案された「国民健康保険税条例の一部を改正する条例」は国保税の負担軽減であり、被保険者にとっては朗報である。平成22年度国保会計実績では、本市は県下で一番高い負担額であるにもかかわらず、医療費自体は一般被保険者と同37番目である。このことは加入者にとって納得できないものであった。

このことから5月の文教厚生常任委員会で行った集中審議を行い、その要因の大きいものが「前期高齢者交付金制度」が挙げられた。また本定例会の一般質問で3名の議員が国保税の抑制についての意見も出された。

■市へ意見書（要旨）

今回、条例の一部改正により税率は引下げられ、平均一人当たり1万2743円、一世帯当たり2万6349円の負担軽減となることは高く評価できるものである。今後、南あわじ市は本条例で定められた税率の維持と医療費抑制、被保険者の負担軽減につながるよう次の事項を強く要望する。

- ①前期高齢者交付金に関する法令の見直しを国に要望すること
- ②市民に対し健康維持事業の強化を図ること
- ③特定健康診断の受診率の向上と3大疾病の早期発見による医療費の抑制を推進すること
- ④ジェネリック医薬品の利用促進を図ること

■提出先

南あわじ市長

国に意見書を提出

「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書

産業建設常任委員会から『防災・減災ニューディール』による社会基盤再構築を求める意見書」が本会議に提案され、賛成多数で原案可決となり、国に意見書を送付しました。

■意見書要旨

1960年代の高度経済成長期から道路・橋梁などの社会資本整備が急速に進んだが、建築後50年を迎え、老朽化が進んでいる。建築後50年以上の橋梁が2016年には全体の20%、2026年には47%と約半数にも上り、経年劣化で損傷が多発する危険がある。

今後、東海・東南海・南海地震の発生等が懸念される中、防災の観点から

■提出先

内閣総理大臣、国土交通大臣ほか

対策は急務の課題である。また、これら社会資本への公共投資を緊急かつ集中的に行えば社会全体に需要を生み出し、経済の活性化や雇用創出につながる。よって政府に次の取り組みを強く求める。

- ①道路や橋梁、上下水道、河川、港湾など、更新時期が近づいている社会インフラを早急に点検・特定し、維持・更新のための公共投資を積極的かつ集中的に行うこと
- ②電気、水道、通信などのライフラインの共同溝化・無電柱化を促進し、都市の防災機能の向上を図ること
- ③学校等の公共施設や病院・介護等の社会福祉施設など防災拠点の耐震化及び防災機能の強化を推進すること

■提出先

一般質問

市政を問う

6月11日・12日・13日の3日間にわたって、11人の議員が一般質問を行いました。
 なお、市ホームページでさんさんネットで放送した「一般質問」の番組を動画配信していますので、ご覧ください。(閲覧方法：市ホームページの議会のページから「録画放送」、「一般質問の録画配信」をクリック)



正道・無所属クラブ 久米 啓右 議員

国保税の引下げについて

問 平成22年度決算で県下一高い南あわじ市の国保税の仕組みは。

健康福祉部長 南あわじ市の国保の1人当たりの医療費は、29万5千円で県下41市町中37位。国保税は10万4千円で県下第1位。その要因は前期高齢者の加入率が低いため前期高齢者交付金が1人当たり5万3千円と県下で一番低い。これが結果的に、国保税が県下で一番高いものになった。

問 平成23年度の国

保会計決算での収支は。健康福祉部長 実質剰余金として1億9千万円を見込んでいます。

問 平成24年度の国保会計の収支計画は。市民生活部長 国保税の必要額が約16億1千万円。歳入見込み額が約14億7千万円。不足額1億4千万円。

問 平成23年度剰余金と平成24年度不足額から国保運営協議会での協議内容は。健康福祉部長 平成24年度の不足額に対し23年度の剰余金を投入し、24年度の税率・税額とも引き下げることとなった。1人当たり1万2743円の減額。



その他、危機管理体制について質問しました。

問 国保に対する市長の考えは。市長 今回引下げた国保税の税率・税額の維持のため特別交付金の増額の要請や、健康診断の受診率を高くし早期発見、早期治療という施策にも積極的に取り組んでいきたい。



ゆづるはクラブ 柏木 剛議員

行財政改革

問 事業仕訳の効果額は。

財務部長 平成18年からの6年間累計で約30億円の経費削減効果があった。

問 社会体育施設の利用料収入と経費の関係は。

教育部長 22年度で利用料収入は1600万円、経費は1億2000万円。

問 そこに税金を注ぐことに市民はある程度は納得と思うが、利用者に快適に使ってもらえる施設の維持管理を望む。

教育部長 利用者の視点で接客、トイレ



▲B & G海洋センターテニスコート

等の環境整備に取り組んでいく。

問 職員の改善提案が23年度はゼロ件とのこと。制度が死んでいる。これでいいのか。

市長公室長 提案制度に頼らなくても、普段の仕事の中で改善は行っている。

問 他市で年間600件も出ている例がある。その市では行政効率、行政の経営感覚が高く評価され、市民満足度も高い。考え直しを期待する。

問 放送番組表を広報紙や新聞で掲載している他市の例がある。その市では基本使用料が月額1000円である。顧客満足度面での取り組みは。

総務部長 剰余金を生み出し、投資回収を図りつつ、市民ニーズに合う取り組みを進めていきたい。

他に「食の拠点構想」についても質問しました。

各種証明書のコンビニ交付

問 利便性向上で注目され、参加自治体が増えている。検討は。総務部長 投資額、運営経費面にもらみながら検討・研究していきたい。

ケーブルテレビ事業

問 放送番組表を広報紙や新聞で掲載している他市の例がある。その市では基本使用料が月額1000円である。顧客満足度面での取り組みは。総務部長 剰余金を生み出し、投資回収を図りつつ、市民ニーズに合う取り組みを進めていきたい。

他に「食の拠点構想」についても質問しました。



正道・無所属クラブ 谷口 博文 議員

防災対策について

問 淡路広域消防事務組合施設整備等に約25億の事業計画がなされており、淡路3市の合併後の財政負担は当市の負担割合が一番高いのにもかかわらず、市民消防サービスの低く市民の不公平感があり、緑庁舎跡地に消防出張所、並びに救急車等の配備を要望しました。

問 近年ゲリラ豪雨等、自然災害、台風等、風水害が多発。市民の命を守る消防団員の安全確保に必要な個人装備を充実させていきたい。

問 近年ゲリラ豪雨等、自然災害、台風等、風水害が多発。市民の命を守る消防団員の安全確保に必要な個人装備を充実させていきたい。



▲平成16年の台風23号で三原川が氾濫した

問 災害時、情報伝達するだけの手段に防災行政無線の施設整備計画は費用対効果を十分考慮し、他の伝達手段等も検討すべきでないか。総務部長 災害時等の情報伝達について、当市はケーブルテレビ整備の付加価値を高め、屋外拡声機等の整備を進めてきましたが、有線が切れた時、放送出来ない部分があり、今後有効な手段を今、

研究検討の最中です。他に消防団事務の広域消防への移管、自主防災組織の連携強化を図るべき連絡協議会組織作り、地震津波減災対策、ハード整備、福良湾、塩屋川、本庄川、三原川河口等の改修を要望しました。また、世界遺産について質問しました。



ゆづるはくらuchi 森上 祐治 議員

幼児教育・保育と人的配置の問題

保育士・幼稚園教諭の年齢構成及び正規職員と嘱託・臨時職員の比率は年々厳しくなってきた。非常に不自然であり、人を育てる環境の人的配置としても問題ではないか。

防災頭巾着用に向けて

地震を想定した避難訓練での重要事項は。教育部長「頭を保護して逃げよ」と文科省の文書でも強調されている。

地震を想定した避難訓練での重要事項は。教育部長「頭を保護して逃げよ」と文科省の文書でも強調されている。



学校園で防災頭巾の備えを(写真提供:豊岡市教育委員会)

「防災頭巾」の活用を聞くが。教育部長 1970年代に動きがあったようだ。これまで議論されたことはなかった防災頭巾だが、「着用」に向けて。教育長 自分の身を守ることからすれば、調査・研究する必要がある。総務部長 家庭・地域の防災意識の高揚に役立つのではないかと。



市民連合・無所属クラブ 長船 吉博 議員

新人形会館の印象は

当初の感じとは違う。浜みが出て、心配ない色彩に。年間8万人の集客目標が建物のイメージから心配。教育部長 努力し頑張る。

超節水トイレに補助金を

旧水洗トイレは13%超節水型は69%水をカットできる。上下水道代の負担軽減はいくらかあるか。下水道部長 年間1万8千円。

節電と経費節減で

新庁舎最終設計、全館LED照明か。市長公室長 LED照明は最小限の使用。節電、環境、CO2、経営的にも導入するべき。市長公室長 建物ライフサイクルコストを睨みながら。「森は海の恋人」

福良連合自治会が2年前、新人形会館を使用したい旨、市へ要望をした。なぜ結果を自治会に報告しないのか。教育部長 文教厚生常任委員会で質問があり答弁した。教育部長 連合自治会長が市長に話したが「初めて聞いた」と。市

5~6年で採算が合い、補助金を考えても良いのでは。市長 シミュレーションし、動向を見て判断する。産業振興部長 検討する。

南あわじ市、植林対策は。産業振興部長 21年に60本、本年11月に長見山で実施する。山からのミネラル量の調査を。産業振興部長 検討する。



日本共産党 蛭子 智彦 議員

高すぎた国保税引き下げるのは当然

南あわじ市の国保会計は、2年続けて赤字。国保税は兵庫県で一番高い。しかしながら、医療費は41市町中、退職者国保も含めて38位です。

地震を想定した避難訓練での重要事項は。教育部長「頭を保護して逃げよ」と文科省の文書でも強調されている。

他に、慶野松原を美しくする活動の必要性、米飯給食の増加や、御原中学辰美中学の統合問題について質問しました。

南あわじ市平成24年度国保税試算表

Table with 9 columns: Category (National, High Age, etc.), Unit (Individual, Household), and Amount for 24th and 23rd years, plus a difference row.

新人形浄瑠璃館の運営について

人形浄瑠璃館の竣工その後の日程は。教育部長 7月6日竣工検査、7月30日竣工式、8月1日より5日間内覧会、8月8日よりグランドオープンです。

運営に別途2千万円を支出している。一番大事な人形座の職員の身分が(淡路人形協会寄付行為(規定)に照らして理解し難いが。教育部長 人形座は組織として人形協会の中という事です。協会には2部門あり非収益事業で3市の補助で主に後継者の養成。人形座で収益事業を行っており寄付行為(規定)の改正については検討する。

組んで頂いている。新人形浄瑠璃館建設において6千数百万円寄付を頂いている。人形浄瑠璃館の指定管理者に人形協会の副理事長でもあり市の代表監査委員でもある小林健司氏の名があるが、迷惑が掛かるのではないかと。教育部長 指摘された事は協議させて頂く。

人形浄瑠璃館の管理運営を淡路人形協会に指定管理するとの事ですが、淡路人形協会について。教育部長 昭和52年設立された財団法人で協会運営費は淡路市120万円、洲本市110万円、南あわじ市360万円。南あわじ市は人形座

後継者団体の育成サポートクラブが平成9年より2億1千万円を助成しているが。市長 森理事

長に報告を上げないのか。教育部長 上げていなかったかも。協議の上、使用して問題ないのかな。超節水トイレに補助金を。旧水洗トイレは13%超節水型は69%水をカットできる。上下水道代の負担軽減はいくらかあるか。下水道部長 年間1万8千円。5~6年で採算が合い、補助金を考えても良いのでは。市長 シミュレーションし、動向を見て判断する。産業振興部長 検討する。



▲8月8日オープンする淡路人形浄瑠璃館



ゆづるはクラブ 原口 育大 議員

ジェネリック (後発医薬品)での 節約効果

問 私はコレステロール値を下げる薬(メバロチン)を1回に60日分もらっており、これまで窓口で1630円(3割負担)を払っていたが、今回はジェネリック(プラメバン)を勧められて、窓口負担は780円であった。これを医療費で見ると、差額は2830円であり、そのうちの7割分1980円が国保会計で節約されたことになる。私の場合はこの薬を年6回もらうので、

本人負担は年間で約5千円(850円×6回)軽減され、国保会計は約1万2千円(1980円×6回)ぐらゐの節約になる。ジェネリック医薬品を医師会なり薬局にもっと推進すべきだ。健康福祉部長 医療機関で希望者カードを提示すれば処方していただけと思うので、12月の更新時に郵送したい。また、ジェネリック医薬品を使ったときに生じた差額の通知もしていきたい。問 広島県呉市では、ジェネリック医薬品使用促進通知サービスによる医療費削減効果として、通知総数のうち約7割の方がジェネリック医薬品に切りかえていた

ジェネリック(後発医薬品)使用による節約効果の一例

Table with 4 columns: 薬剤名, 窓口支払(3割負担), 医療費, 国保会計での節約額. Rows include メバロチン(先発医薬品), プラメバン(後発医薬品), and 差額.



ゆづるはクラブ 出田 裕重 議員

家庭教育支援について

問 市長部局・教育委員会として、これから親となる方々も含め、親のための教育の機会を増やし、情報発信等、積極的にやるべき。教育基本法にうたわれている健康福祉部長 これから親となる方々に対しても検討したい。教育部長 単位PTA等で家庭教育に対する取り組みを地道にすることによって底辺が広がる。問 あわせて発達障害・学習障害等の早期発見と二次障害の予防体制の確立を。

子育て・教育環境に対する課題認識について

市長 家庭の事情子育てに対する価値観はさまざまだが、三代同居の流れも必要。問 三代同居推進を政策として形に表して欲しい。また、子どもの自尊心・自己肯定力を育むため、人に感謝し、自分が社会の役に立っているといった経験をさせ、夢や希望をもたせることが大事。それらの手助けの一つとして「弁当の日」の導入を。教育長 三代同居がなくなってきた。「弁当の日」という取り組みは本当の意味で「食育」だと思っ



※「弁当の日」とは、子ども自らで献立・買い出し、調理をすることにより、親への感謝の気持ち、地産地消等への関心を深め、自尊心の向上などを図ることを目的とし、全国約1400の小中学校で取り組みが行われている。



公明党 熊田 司 議員

非構造部材の耐震化について

問 小学校の非構造部材の耐震化の状況は。教育部長 22年度に市小学校校舎・阿万小学校屋内運動場の大規模改修時に行った。本年度は八木小学校校舎・福良小学校の屋内運動場の改修を予定しており、その時に外壁、屋根、天井等の非構造部材の耐震化も行う予定である。問 中学校の非構造部材の耐震化はどう考えているか。教育部長 特殊建築物の定期検査と併せて実施する予定である。

通学路の安全点検について

問 安全点検をどのような方法で行うのか。教育部長 今年度はすでに点検を実施し、教師の付き添いのもとに登下校の指導等を行っている。今後、警察・道路関係部局に協力をいただいで、きめ細やかな通学路の安全対策を行う予定である。問 市長の安全点検に関する考えは。市長 事故が起きてからでは遅いので、スピードを落とすことを促す看板や道路標識を設置するなど、やることから実施していきたい。



▲雨の中、歩道のない通学路を登校する児童(市小学校)

節電対策について

問 計画停電時の在宅患者に対する取り組みは、どうなっているか。健康福祉部長 市内で人工呼吸器の利用者が5名、吸引器の利用者が8名、酸素濃縮機利用者が2名いる。個別に訪問して今後の対応を検討していきたい。



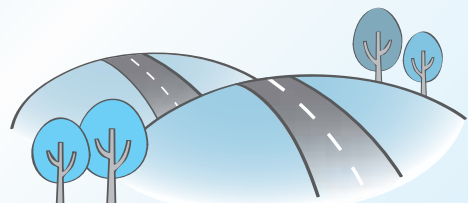
無所属 砂田 泉洋 議員

市道整備について

問 市道を新設する場合の手順は。都市整備部長 地元要望があり、関係者の施工同意を経て現地調査の上、施工となる。問 用地買収をせざるに工事にかかった例

都市整備部長 ほ場整備の実施地域である。

問 地元要望を優先して工事し、相続登記が出来ないので地権者から用地買収できず、市道が完成した今も市がお金を払っていないが、どうなのか。市長 解決できる方法を探って、早急に担当部で対応をするよう指示する。



議会の傍聴のご案内

・本会議の傍聴はどなたでもできます。ご希望の方は直接議場へお越しください。

※各委員会の傍聴は委員長の許可があれば傍聴できます。事務局までお問い合わせください。

・会議の日時等については市ホームページ、議会だより(裏表紙)等を参照してください。

問 議会事務局 ☎43-5005

入札制度の見直しは？

総務常任委員会

4月16日の委員会

▼姉妹都市セライナ

問 セライナ市への学生派遣事業を拡大する予定はないのか。
答 派遣学生10名、引率者3名の内容で継続していききたい。

▼入札制度

問 今後の見直しは。
答 いろいろな意見はあるが、ランダム係数の上乘せを廃止する方向で考えている。

▼南あわじ市総合計画

問 後期基本計画は定住人口5万人を基準に考えているが、過剰投資にならないか。
答 いろいろな施策を実施し、官民一緒になって定住人口5万人を維

持していきたいという思いで計画を立てている。

5月7日の委員会

▼吉備国際大学

問 地域創成農学部(仮称)の学生確保に向けた取組みは怎么样了か。
答 正式な募集は認可後でなければできない。そのため、各高校を訪問し、計画中の内容に



5月7日、コミュニティバス乗車による調査を実施

ついで説明をしたり、高校生にアンケートを実施したりしている。

▼消防団活動

問 消防団活動費は出動状況を考慮して、増額してはどうか。
答 他市の例を参考に研究する。

工程表を作成し計画的に行っているか。
答 担当部署でそのようにしている。

▼コミュニティバス

問 公共交通会議でデマンド方式導入を検討してはどうか。
答 費用対効果を考えながら、新しいシステムを作っていきたい。

▼市有財産の改修

問 市有財産の改修は、

各委員会では、議会閉会中も調査活動等を行っています。
4月～6月の議会閉会中に行われた委員会の調査概要を報告します。詳細は、市ホームページに委員会録を掲載していますので、ご覧ください。

そこが知りたい 委員会調査 レポート

小・中学校の統廃合、進め方は？

文教厚生常任委員会

4月17日の委員会

▼淡路人形浄瑠璃館

問 進捗状況は。
答 ほぼ工程表のおおりに進んでいる。品質管理等は週に2、3日現場で協議している。

ている。当市では現在10名が勤めている。

▼小中学校の統廃合

問 今年度の進め方は。
答 PTA役員が選出された時点で説明し、協議する。課題が学校ごとに異なるので、細かく検証しながら進めたい。

▼体育協会

問 体協の各地区の体制は整っているか。また予算配分方法は。
答 昨年度、理事を選出されなかった地区も選出していると聞いている。協会内の予算配分方法は、協会で協議している。

▼その他

地域福祉計画、障害者の福祉計画、老人福祉計画及び介護事業保険事業計画の説明を受ける。

5月24日の委員会

▼太陽光発電補助金

問 申請状況は。
答 書類受付等、現在30件ある。申し込み多数の場合は積極的に対応したい。

バイオマス施設の利用状況は？

産業建設常任委員会

4月27日の委員会

▼渦潮の世界自然遺産登録に向けて

問 具体的な取り組みは。
答 淡路全体、鳴門市、徳島県、兵庫県も一緒に協議会なりを立ち上げて着実に取り組んでいきたい。

問 なないろ館の前に横断幕を設置する。

▼あわじ環境未来島特区

問 淡路市ではメガソーラー発電施設の誘致や小学校跡地を利用したバジルの生産・加工・販売に取り組んでいる。南あわじ市での取り組みは。
答 食の拠点施設を計画し、今年度はコンサルタント委託等を予算に計上している。また昨年、沼島に土産物用の



なないろ館前に設置された世界自然遺産登録へのPR看板

水産物加工場を作った。

▼有害鳥獣

問 有害鳥獣の捕獲数、被害分布は。
答 23年度捕獲頭数イノシシ1288頭、シカ1160頭。22年度イノシシ1335頭、シカ1156頭。防護柵などを地域ぐるみで早く取り組んだところが減少傾向にある。

5月21日の委員会

▼吉備国際大学の工事

問 市内業者の参入は。
答 大学側の話によると、岡山の業者1社と南あわじ市内の業者2社によるJV(合同企業)による入札を実施すること。JVの出資比率は岡山4割市内6割である。

▼少年スポーツ指導者

問 指導者の位置づけは。
答 基本的にはボランティア。地域を挙げて子どもたちを育てていきたい。



太陽光パネル

▼一人親世帯

問 市内の実態は。
答 450世帯が一人親世帯。日常生活支援事業の中で資格取得等により自立する道もある。しかし年収が200万

▼その他

認定こども園、国保税について集中審議。

▼バイオマス施設

問 南あわじ市のバイオマス事業は、野菜残渣の不法投棄をなくすことが基本的な考え方であった。淡路の生産量が年間10万トで、うち1割の1万トが残渣として出るであろうと。昨年度の残渣処理量は、

問 市の5施設で2483ト。民間施設で2589ト。
答 合計約5千トで想定半分ぐらいである。施設整備後、不法投棄で警察等からトラブルの連絡はないか。
答 特にトラブルは出ていないと思う。

新庁舎・市民交流センターの計画は？

庁舎建設特別委員会

■4月12日の委員会

▼新庁舎工事

問 地元業者が建設工事に参入できるか。
答 庁舎は地震に備えた免震構造で、免震工事の実績のある業者となる。J.V（共同企業体）を組むことで地元業者も参画できるように考慮したい。

▼庁舎設備、周辺道路

問 新庁舎建設でのLEDの照明採用は。
答 今後価格が下がる可能性がある。状況を見ながら検討する。



▼市民交流センター

問 市民交流センターの準備組織ができていない地域もあるが、今後の進め方は。
答 21か所で地元説明会を行った。温度差はある。平成25年4月からモデル実施を行い検証する。

▼窓口サービス

問 設備の発注方法は。
答 分離発注すれば高くなる。積算の結果を見て考えたい。

▼跡地利用

問 分庁舎跡地の利用の検討状況は。
答 地元と協議中である。三原庁舎は、市商工会・社会福祉協議会・シルバー人材センターから庁舎利用願いが提出されている。

議会基本条例案を作成

議会改革特別委員会

■4月24日の委員会

▼議会基本条例案の検討、作成

制定の目的は議会の本来の役割、責務である市政の監視、評価機能に加え、市民の議会に対する厳しい視線に応えるべく、主に次のような事項を明文化した。

▼議会基本条例案の検討、作成

制定の目的は議会の本来の役割、責務である市政の監視、評価機能に加え、市民の議会に対する厳しい視線に応えるべく、主に次のような事項を明文化した。

票・印鑑証明等の各種証明書を即日発行する方針であるが、個人情報の漏洩等の対策は、十分にチェックができる体制を構築する。

▼被害予想見直し

津波5.7m→9m 震度6弱→震度7
問 国で、南海地震の被害予想が見直された。説明を求めたい。
答 内閣府の下部組織「南海トラフの巨大地震モデル検討会」が3月

南海地震と大津波に備えて

地震・津波対策特別委員会

■4月23日の委員会

▼自主防災組織の役割は

問 市内各地区の自主防災組織の充実と意識高揚の取

▼管外調査

5月10日～11日、高知県安芸市・須崎市の津波対策について視察した。

▼自主防災組織の役割は



震度5で自動閉鎖する津波水門（須崎市）

そこが 委員会 レポート 知りたい

▼議会改革の取組についての視察

4月24～25日、管外調査として特色ある議会改革の取り組みをしている議会を視察した。

①千葉県流山市

流山市議会は議会基本条例制定後の議会活性化委員会の活動、特にICTの活用面で全国的に注目されている。

特に参考になり、印象に残ったことを記す。

市長の議員に対する反問は有効に行使されており、行使回数も多い。

②福島県会津若松市

会津若松市議会は議会改革面で全国上位に評価されている。特に住民との意見交換会から出た意見を議会からの政策形成サイクルとし

●スマートフォンの電子投票システムを運用。導入経費はスマートフォン30台の初期費用含め146万円と小額投資で済んでいる。

②福島県会津若松市

会津若松市議会は議会改革面で全国上位に評価されている。特に住民との意見交換会から出た意見を議会からの政策形成サイクルとし

●住民側も意見交換会では地区の要望を出す場でないことがわかってきて、市全体のまちづくりの意見に変わってきた。

②福島県会津若松市

会津若松市議会は議会改革面で全国上位に評価されている。特に住民との意見交換会から出た意見を議会からの政策形成サイクルとし

地方自治の発展に貢献 3氏に表彰

永年地方自治の発展と振興に貢献された方々に表彰が贈られました。

兵庫県功労者表彰
自治功労賞 登里伸一 議員



全国市議会議長会表彰
在職15年以上表彰 川上 命 議員



在職10年以上表彰 砂田 泉洋 議員



委員会のあり方、 議会放送を調査

議会運営委員会

5月16日、17日にかけて、議員定数削減の委員会活動への影響とケーブルテレビでの議会放送について調査した。

▼香川県さぬき市
平成15年度に市議会中継システム工事を1354万5千円で実施。行政情報を身近に提供する手段として市民に定着している。また地元ケーブル

▼徳島県小松島市
平成21年6月に総務常任委員会と産業建設常任委員会を統合し、文教厚生常任委員会、予算決算常任委員会との3常任委員会に編成。予算決算常任委員会では、事務事業評価を行い、結果を提言書にまとめ執行部に提案している。



▶さぬき市議会での視察風景

テレビでは本会議の生放送、録画放送に加え、委員会審議を1、2分のニュース映像として編集し速やかに放映している。実際に視聴させてもらったが、議会の動きがタイムリーに市民に届いている印象を受けた。またCATVの番組表が地方新聞に掲載(無料)されていた。

▼兵庫県小野市
議員定数を削減しても議員自らの資質を高めることにより、議会の活性化は十分可能として、平成22年3月定例会で定数を2名削減して16名とし、同じく9月議会では、委員数8名の2常任委員会とした。また、議会事務局から議員への連絡用に議員個人の携帯電話へのメール配信を定期的に行っている。

「政務調査費」23年度分 実績報告

政務調査費は、議員の審議能力及び政策立案能力の強化を図るため、調査研究に必要な費用の一部を会派に対し交付するものです。

交付金額は、1人あたり年間15万円(月額12,500円×12カ月)として、会派に交付しています。

23年度の実績一覧表は下記のとおりです。詳細は市ホームページ、または閲覧用書類(議会事務局に設置)をご覧ください。

(単位:円)

会派名(人数)	交付額	執行額								計	残額
		研究・研修費	調査旅費	広報費	広聴費	資料作成費	資料購入費	事務費	その他の経費		
ゆづるはクラブ(6人)	900,000	118,369	543,991	10,000	0	0	178,140	7,186	31,500	889,186	10,814
正道・無所属クラブ(6人)	900,000	25,350	557,202	0	0	0	201,900	71,043	31,500	886,995	13,005
市民連合・無所属クラブ(5人)	750,000	0	471,986	28,644	12,959	0	80,825	70,722	31,500	696,636	53,364
公明党(1人)	150,000	16,325	0	0	0	0	5,200	31,500	53,025	96,975	
南あわじ市日本共産党(1人)	150,000	0	89,460	0	19,000	0	34,500	5,820	1,220	150,000	0
計	2,850,000	160,044	1,662,639	38,644	31,959	0	495,365	159,971	127,220	2,675,842	174,158

注) 交付申請のない会派には交付していません。使われなかった残金は市に返納されます。交付額を超えた分は支給していません。

議会活動日誌

4月	5月	6月
4月6日の議会及び議長の活動状況について次のとおり報告いたします。 4日 兵庫県市議会議長会会長市就任挨拶来庁(議長) 6日 議会広報広聴特別委員会(議長、総務常任委員長) 7日 戦没者追悼式(全議員) 9日 南あわじ市・洲本市中学校組合議会臨時会 10日 議会改革特別委員会 12日 庁舎建設特別委員会 13日 議員協議会 16日 東播・淡路市議会議長会定例会(正副議長) 17日 議会広報広聴特別委員会 19日 文教科厚生常任委員会 20日 淡路政経懇話会例会(議長) 21日 議会運営委員会 22日 商工会青年部通常総会(副議長) 23日 消防団幹部新入団員訓練(議長) 24日 地農・津波対策特別委員会(議長) 26日 会視察研修 27日 兵庫県市議会議長会総会(正副議長) 28日 産業建設常任委員会 老人クラブ連合会三原支部総会(議長)	2日 視察受入(朝来市議会) 3日 老人クラブ連合会総会並に研修会(議長) 7日 総務常任委員会現地調査 8日 議会改革特別委員会 8日 南淡支部老人クラブ連合会春季ラウンドゴルフ大会(議長) 10日 健康大学講座開講式(副議長) 10日 庁舎建設特別委員会 11日 別委員会視察研修 12日 体育協会定期総会(副議長) 12日 連合自治会総会(議長) 13日 直販フェア(全議員) 15日 視察受入(富山県小矢部市議会) 16日 視察受入(千葉県袖ヶ浦市議会) 16日 老人大学ちどり学園開講式(文教科厚生常任委員長) 16日 議会運営委員会視察研修 17日 県功労者表彰式(登里議員) 18日 議会改革特別委員会 19日 高齢者大学「うずしお学園」開講式(議長) 20日 読書「まつり」(文教科厚生常任委員長) 21日 産業建設常任委員会 22日 洲本市・南あわじ市衛生事務組合議会臨時会 25日 商工会通常総会(副議長) 26日 老人クラブ連合会親善グループ大会(副議長)	23日 全国市議会議長会定期総会(議長) 24日 庁舎建設特別委員会 26日 文教科厚生常任委員会 26日 あわじ中央ロータリークラブ創立20周年記念例会(副議長) 26日 ふれあい文化芸術祭「カラオケ部門」(文教科厚生常任委員長) 27日 同「芸能部門」(副議長) 28日 議会運営委員会 28日 淡路広域水道企業団例月出納検査 29日 食品衛生協会通常総会(副議長) 30日 淡路瓦工業組合通常総会(副議長) 30日 シルバー人材センター定時総会(副議長)

第44回南あわじ市議会定例会日程（9月）

◆開会：午前10時～

会議日	会議内容（予定）
第1日 8月30日(休)	1.各常任委員会調査報告 2.平成23年度南あわじ市一般会計、特別会計等決算認定（説明、質疑、委員会付託） 3.条例案上程（説明、質疑、委員会付託） 4.平成24年度南あわじ市一般会計補正予算案上程（説明、質疑、委員会付託） 5.その他の案件上程（説明、質疑、委員会付託）
第2日 9月6日(休)	1.一般質問
第3日 9月7日(金)	1.一般質問
第4日 9月10日(月)	1.一般質問 2.追加議案上程（説明、質疑、委員会付託）
予備日 9月11日(火)	
第5日 9月26日(水)	1.特別委員会（改革・庁舎）調査報告 2.追加議案上程（説明、質疑、討論、表決） 3.付託案件委員会審査報告（質疑、討論、表決）



◆開会：午前10時～

委員会	会議日	会議内容
委員会	総務常任委員会	9月20日(木)
	文教厚生常任委員会	9月24日(月)
	産業建設常任委員会	9月21日(金)

※23年度決算は、決算審査特別委員会を設置し、審査を行います。審査の日程は、決算審査特別委員会設置後、9月12日(水)・13日(木)・14日(金)・18日(火) **午前9時**開会で調整を行う予定です。

自宅で傍聴できます

ご利用ください「インターネット中継」

本会議や委員会（一部を除く）をインターネットで生放送しています。

閲覧方法

1 南あわじ市ホームページを開く

南あわじ市

2 南あわじ市ホームページから「南あわじ市議会」をクリック



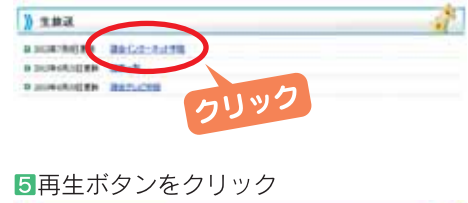
クリック

3 「生放送」をクリック



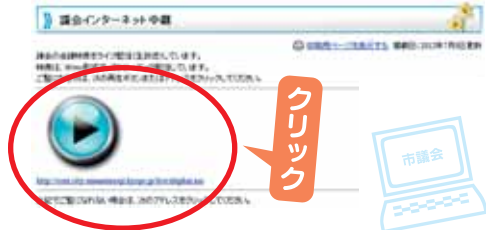
クリック

4 「議会インターネット中継」をクリック



クリック

5 再生ボタンをクリック



クリック

編集後記

人間の手を加えることもなく、鮮やかな色を発色する花が自然界に多い。

雨に濡れ、一段と青色がさえるのがアジサイ。七変化と呼ばれる、色が移っていく姿も美しいが、アジサイの種類は多く、次々に新品種が出る中、山アジサイの控えめな青や白色の人氣も根強い。しかしアジサイの花言葉には色変わりすることから、移り気、高慢、変節など印象のよくないものが多い。

最近、公約をあっさり覆す政党、また賛成、反対を簡単に変える政治家を連想します。政治は国民から信頼、愛されるように美しく咲き、実を結実、次世代に送ることが使命であります。

我々広報の議員も、議会の情報を正確に伝え、愛される議会になれるように頑張ります。
(川上)

